

令和7年度 日向市立美々津中学校 学校評価

【評価基準 4：期待以上 3：ほぼ期待通り 2：やや期待を下回る 1：改善を要する】

番号	重点目標	重点目標達成のための手段	令和5年度			令和6年度			令和7年度			委員の意見 (○：期待通り・★：改善内容・☆：提案・□：意見、質問)	
			生徒	保護者	教師	生徒	保護者	教師	生徒	保護者	教師		
1	確かな学力の定着	●「わかるまで、できるまで」をモットーとした学力向上の推進	3.4	3.2	3.4	3.6	3.6	3.6	3.7	3.5	3.4	<p>○本校の「家庭学習の手立て」や「キャリア教育」について、生徒や保護者に明確に伝えられていない。</p> <p>★本校の「家庭学習の手立て」や「キャリア教育」の流れを伝える集会を開き、全校生徒に共通理解を図る。</p> <p>★本校の「家庭学習の手立て」や「キャリア教育」について参観日の学級懇談や通信などで発信する。(学校の取組を懇談で説明し、学校と家庭が連携して学力向上に取り組む。)</p>	<p>★キャリア教育でどのような活動を行い、その活動がどのようなつながっていくのかを保護者に発信するとよい。</p> <p>☆美々津スタイルノートのような取組はとてもよい。このような取組をしていることがわかっていない保護者もいるため、参観日などでの説明が必要。また、保護者の確認のサインなどがあるとよい(親子の会話ができる)。</p>
		●将来を見すえ、粘り強く学習に取り組む生徒の育成	3.4	3.3	3.4	3.8	3.5	3.8	3.7	3.6	3.4		
		●家庭学習の習慣化	3.3	3.1	3.3	3.6	3.3	3.6	3.6	3.5	3.6		
		●進路実現ができる学力の保障、キャリア教育の推進	3.2	3.0	3.2	3.5	3.1	3.5	3.7	3.3	3.2		
2	生徒指導の充実	●「時を守り、場を清め、礼を正す」姿勢の醸成(清掃・給食等を通して)	3.5	3.5	3.5	3.6	3.2	3.6	3.8	3.7	3.7	<p>○平均値は高いが、「あまりそう思わない」と答えた生徒や保護者がいることも事実</p> <p>★教師の細やかな目配りと連携で、生徒の小さなサインを見逃さずに共有する体制の強化。</p> <p>○保護者・生徒の評価は高いが、職員平均が3年間で最低。</p> <p>★職員が自信をもって指導していると思える指導体制の確立が必要。</p> <p>○やさしい言葉の木作成集会や職員向けの人権教育を行い、差別をしない生徒を育てるための取り組みを行ってきた。</p> <p>★今までの通り組を継続しつつ、さらなる人権教育の充実を目指す。</p> <p>○表立って活動する機会が少なかった。</p> <p>★ボランティア活動に参加する機会を設けていきたいまた、生徒会活動の報告などの情報発信に力を入れていく。</p>	<p>□生徒の評価は高いが保護者の評価が低いのは、思春期で親との会話が少ないのではないか。</p> <p>☆生徒、保護者の評価は、令和5年度から比べるとよくなっている(ほとんどの項目)。先生方ももっと自信を持ってほしい。</p>
		●社会性の習得と規範意識の高揚	3.7	3.4	3.7	3.8	3.4	3.8	3.8	3.7	3.3		
		●豊かな心の育成	3.4	3.2	3.4	3.6	3.1	3.6	3.8	3.4	3.5		
		●正義が通る集団(生徒会を中心とした民主的な集団の育成)	3.6	3.4	3.6	3.7	3.3	3.7	3.8	3.5	3.1		
3	生き抜く力を付けるための保健・安全指導の充実	●災害や事故から身を守るための知識・技能・心の教育	3.6	3.6	3.6	3.8	3.7	3.8	3.9	3.7	3.6	<p>○年4回の避難訓練や毎月の安全点検を積極的に行うことができた。登下校時の違反等や外部からの指摘で指導を行うことがあった。</p> <p>★職員の安全に対する危機意識の向上と生徒への継続的な呼びかけを行っていく。</p> <p>○生徒・保護者・職員ともに高い平均値である。</p> <p>★今までの美々津中ならではの伝統や積み重ねを土台に生徒減などの変化に対応した行事づくりの必要がある。</p> <p>○過去3年間の保護者・生徒の評価は変わらないが、職員平均が3年間で最低である。</p> <p>★部活動生の人数不足や部活動再編・地域移行などのこれからの問題や課題に対して学校・地域ともに方向性を考えていく。</p>	
		●体力の向上と健康教育の充実	3.7	3.6	3.7	3.8	3.6	3.8	3.9	3.7	3.9		
		●部活動の活性化	3.5	3.4	3.5	3.7	3.4	3.7	3.7	3.5	3.3		
		●学校安全の徹底と環境整備、美化の推進	3.4	3.3	3.4	3.5	3.5	3.5	3.7	3.5	3.7		
4	家庭・地域との連携	●学校だより、HP・安心安全メール学級通信等による積極的な情報発信	3.7	3.6	3.7	3.8	3.6	3.8	3.8	3.8	4.0	<p>○定期的な情報発信の継続(学校だより、学級通信、ホームページ、安心安全メールを活用して発信していく。)</p> <p>○職員間での日頃の生徒に関する情報共有に努め、生徒や保護者の相談等には、傾聴の姿勢で応じる。</p> <p>★家庭や地域の協力がグランドデザインにどのように示され実践されているのかを、学校便り、学級通信、ホームページ等でお知らせしていく。</p> <p>★グランドデザインについて、PTA総会での周知、参観日でグランドデザインに沿った取組に関し説明する。参観日で職員が保護者に説明することで、自分事化する。</p>	<p>□グランドデザインの学校内と学校外での理解を進める必要がある。</p> <p>★今後の小中一貫校に向け、義務教育学校になったら何がかわるのかの保護者の理解を図る必要がある。</p>
		●学校、家庭の双方向の情報交換	3.6	3.3	3.6	3.7	3.2	3.7	3.7	3.4	3.7		
		●小中一貫教育(グランドデザイン)の実施	3.4	3.2	3.4	3.5	2.9	3.5	3.7	3.3	3.0		